

報告第 2 5 号

令和 5 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業並びに
決算の報告について

地方自治法第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和 5 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業並びに決算について、別紙のとおり報告する。

令和 6 年 9 月 1 8 日提出

宇治市長 松 村 淳 子



6 公財宇野活第 7 2 号

令和 6 年 6 月 3 0 日

宇治市長 松村 淳子 様

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚 夫



令和 5 年度公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告および決算報告について

令和 5 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告および決算報告に
ついて、別紙のとおり承認されましたので報告します。

議案第 1 号

令和 5 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について

令和 5 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について、別紙
のとおり承認を求める。

令和 6 年 6 月 2 9 日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動セン

代表理事 杉 本 厚



令和5年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告書

令和5年度 公益財団法人宇治市野外活動センター 事業報告書

I. 年度総括

当法人は令和4年度からの5年間、指定管理者として宇治市総合野外活動センター運営を受託している。

お客様がアクトパル宇治を創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう次の3つのミッションを柱とした事業を展開した。

- 豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。
- 自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。
- 地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和4年度より導入された利用料金制度を自立した経営力を発揮するチャンスととらえ、お客様のニーズに合わせたテントエリアの拡大や予約不要工作イベントの開催等、収益増に向けた取り組みを進めるとともに、各種委託業務契約の内容や人員配置の見直し等、必要経費の削減にも努めてきた。令和5年度は団体利用促進にむけた広報活動の強化や、オートキャンプ等の新規事業の開発に取り組むとともに、新たに食堂や売店でキャッシュレス決済を導入した。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売等、必要に応じて協議の場を設けた。

令和5年5月には新型コロナウイルス感染症が5類移行となったことを受け、宿泊や炊事利用の利用数制限を徐々に緩和した。新型コロナウイルス感染症の影響が年度前半において団体利用の大きな利用減少要因となったものの、年間利用者数は90,091人と前年より約16%増加した。最終的な利用料金収入は自治体の旅行支援事業分(約35万円)を含め約3,395万円(当初予算比マイナス約70万円、前年比プラス約760万円)となった。

社会情勢の影響により電気料金が予算額より大幅に値上がりしており、当初予算比で約380万円の支出増となった。光熱費の高騰や収益の柱である団体利用の回復の遅れが収支に大きな影響を与えることになったため、リスク分担にかかる宇治市との協議の結果、令和5年度は指定管理料を約700万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

Ⅱ．事業内容

1． 指定管理業務

宇治市より「宇治市総合野外活動センター アクトパル宇治」の指定管理業務を受託した。

(1) 活動支援事業

お客様が施設を利用されるにあたり円滑に活動できるよう、天体観察プログラムを案内する天文ボランティアの調整や、創作活動の補助、農業体験の実施調整等の支援を行った。

また、より充実した活動プログラムの開発を行うための野外活動等に関する最新情報の収集を行った。

活動支援事業例

○天体観察での天文プログラムの実施

○陶芸や木工作品等の創作活動の指導・助言

・令和5年度よりお客様のニーズや木材等、原材料費の高騰に対応するため、創作活動プログラムのリニューアルを図った。

○農業体験やふるさと体験等の紹介

○林間学校・スポーツ合宿等でのプログラム相談

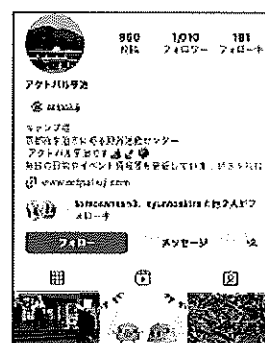
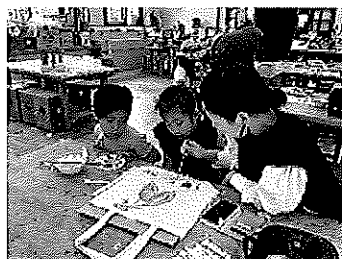
○Web での情報発信

・ホームページで施設予約状況、イベント情報等、最新の情報発信を行った。

・令和4年度より SNS (Instagram X Facebook) を毎日更新しており、フォロワー数も伸びている。(令和6年3月末現在 Instagram 863 人、X 510 人、Facebook 626 人)

○工作棟オープンデー

・工作棟の利用促進を図るため、予約不要で工作棟で各種クラフト体験ができるイベントとして新たに実施した。



(2) 野外活動奨励事業

市民が気軽に野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に野外活動センターの利用が促進されることを目指して予約不要のイベントを開催した。

利便性の向上と工作プログラムの PR につなげるため、事前予約不要の工作プログラムを提供した。

事業一覧

春まつり、アクトパルであそぼう！

山であそぼう！、秋まつり、ハロウィンをたのしもう！、わいわいホリデー、

体育館であそぼう、笠取交湯会、新春笠取市、つくってあそぼう、

星空オープンデー、親子で楽しむグラウンド・ゴルフの日、春・秋のグラウンド・ゴルフデー



(3) 活動体験事業

丁寧なサポートと充実したプログラムを提供するために、定員を設けた有料イベントを年間約 50 イベント企画・実施し、生涯学習の推進を図った。

親子で参加しやすい初心者向けの単発プログラムを中心とする一方、野外活動に深く興味を持ってもらう連続企画や年間を通じた登録制のクラブも実施した。

① 自然・文化・農業

笠取ならではの自然を生かした体験や農業体験、また笠取に古くから伝わる文化に触れる体験イベント。

事業一覧

春の野草探しと天ぷらづくり、田んぼ体験（連続企画：田植えから収穫まで）、

お茶摘み・製茶&ティータイム、じゃがいも掘り&クッキング、

虫ムシ大作戦、さつまいも掘り&クッキング、ふるさとを味わおう、

畑体験（連続企画：玉ねぎとじゃがいも～植え付けから収穫まで～）、

秋のピクニック、ミニ門松&ミニ鏡餅づくり&もちつき、

冬のふるさとハイキング、しいたけの菌打ち体験、

天文教室、グラウンド・ゴルフ大会



② アウトドア体験

初心者がアウトドアを楽しむためのちょっとしたコツをアドバイスして、アクトパルの炊事棟やキャンプ道具をご利用いただきスキルアップできるイベント。

事業一覧

冬キャンプのすすめ（中止）、親子 de キャンプ、
燻製をたのしもう！、アウトドアクッキング（生地からのピザ作り）、
炭火で焼くバウムクーヘン、冬のアウトドアクッキング（ダッチオーブンで簡単調理）、
ダッチオーブンでケーキをつくろう！、BBQをたのしもう！、
アウトドアクラブ（年5回連続企画）

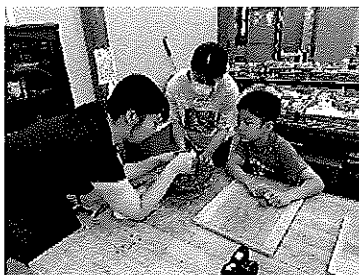


③ 手作り体験

施設近辺で取れる自然素材を使ったり、工作棟で電動工具や陶芸窯を使ったりとアクトパルならではの手作り体験ができるイベント。

事業一覧

陶芸教室入門編、夏休み親子工作デー、そば打ち体験、
手打ちうどん教室、流しそうめんセットをつくろう！、
クリスマスリースづくり、陶器のランタンづくり、陶芸教室ろくろ編
冬の木工教室、陶芸クラブ（年間登録制）



(4) 宇治市総合野外活動センター管理運営事業

お客様に安全・安心、快適に施設を利用していただけるよう維持管理を行い、施設を良好に管理する。あわせて、施設使用の予約受付から申請許可、利用料金の徴収等、施設運営に係る業務を行った。

教育活動、レクリエーション活動の場として学校・団体利用の促進を図るとともに、お客様満足度の向上や地域貢献につながる事業を展開した。

年度前半は新型コロナウイルス感染症の影響により団体利用が少なかったものの、5月の5類移行後は制限の緩和により徐々に利用が回復し、年間利用者数は前年度比約16%増となる90,091人となった。

《宿泊利用者数》30,450人 《日帰り利用者数》59,641人 《総利用者数》90,091人

また電気料金が社会情勢の変化による影響で高騰し、節電に努めたものの当初予算額より約380万円の増額となった。

利用料金収入においては、新型コロナウイルス感染症の影響が年度前半において団体利用の大きな減少要因となったものの、年度後半は利用が回復し最終的な利用料金収入は自治体の旅行支援事業分(約35万円)を含め約3,395万円(当初予算比マイナス約70万円、前年比プラス約760万円)となった。

光熱費の高騰や収益の柱である団体利用の回復の遅れが収支に大きな影響を与えることになったため、リスク分担にかかる宇治市との協議の結果、令和5年度は指定管理料を約700万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

【令和5年度の主な取り組み】

○新型コロナウイルス感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として一部の施設や備品類の利用を制限した。
(5月の5類移行後は解除した。)
- ・5月連休明けの新型コロナウイルス感染症の5類移行後は影響縮小に伴い、宿泊室、炊事棟等の施設利用制限を徐々に解除し、利用促進につなげた。

○団体利用の促進

- ・「スポーツ合宿プラン」「研修プラン」チラシを作成し、近隣の高校、大学、スポーツ団体、企業等に案内するとともに、資料を送付し新規利用団体の獲得、利用促進を目指した。
- ・アウトドアショップにチラシの配架を依頼し、PRを図った。

○グラウンド・ゴルフ利用の促進

- ・愛好家をはじめ、幅広い層にご利用いただけるよう令和4年度から始めた回数券販売を継続し、利用促進につなげた。
- ・食事とセットにしたグラウンド・ゴルフ割引プランを作成し販売した。

○会議システムの整備

- ・研修室においてワーケーション利用や企業や学校の会議スペースとしても活用できるようリモート会議の設備を整えた。

○団体、企業との連携

- ・eco ット宇治と共同で行っている森林保全活動「どんぐりプロジェクト」を継続し、里山環境保全の取り組みを広めた。
- ・アルペンアウトドアーズ宇治店と相互集客の提携を結び、アルペン店頭で利用案内、利用プランチラシを配架した。

○陶芸窯の更新

- ・陶芸プログラムの効率的な運用、利用者の満足度向上につなげるため、積み立ててきた資金で電気陶芸窯を新たに購入した。

○お客様意見・クレームへの対応

- ・施設ご利用のお客様にアンケートやインタビューを実施し、ご要望や不満な点をくみあげ改善につなげた。
- ・イベント参加者には Web アンケートを導入し、回答と集計の効率化を図った。

○施設修繕の取り組み

- ・アスレチックや常設テントの劣化部分の修繕をはじめ、安全に施設をご利用いただけるよう適宜点検・修繕を実施した。
- ・大規模修繕については宇治市と協議、調整の上、放送設備更新工事を実施した。

○市内公共施設との連携

- ・山間地域で高齢者も多い笠取地域の皆様に気軽に利用いただけるよう、宇治市立図書館と連携し図書配本サービスを提供し地域サービス向上に貢献した。

○トイレ設備の改善

- ・多目的トイレ（11 か所）の便座を洗浄機能付きに改修した。

○キャッシュレス決済の拡充

- ・現金以外の支払い方法に対応するため、令和4年度からクレジットカード、電子マネー等が利用可能なキャッシュレス決済を導入している。令和5年度より利用可能な決済事業者を追加し、キャッシュレス決済利用率は約35%となっている。

○有限会社笠取ファームとの協力体制

- ・植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。
- ・日常的な課題や業務改善に向けた取り組みについて、毎月定例会議を実施した。

- ・農業体験、ふるさと体験、各種イベント開催にあたって連携し、お客様と地域住民との交流の場を提供した。

○宇治市との連携

- ・宇治市教育委員会の担当部署である生涯学習課と月1回の定例会議を開き、施設の最新状況や修繕計画等について協議し、連携を密にした。
- ・宇治市子どもの読書活動推進委員会との連携事業として令和4年度に管理棟ホール図書コーナーに設けた子ども読書コーナー「えほんの森」スペースに、京都府の「豊かな森を育てる交付金事業」を活用して新たにキッズハウスや絵本棚、子どもベンチ等を配置し、利用者により一層読書を楽しんでもらえるよう環境の充実を図った。

2. その他自主事業

施設外でのイベント開催や外部事業者との提携を図るなど、設置施設の枠組みにとらわれない柔軟な事業展開を行った。

食堂及び売店運營業務を有限会社笠取ファームに委託し、地域の特色を生かした食事提供や物品販売を行った。

お客様のニーズにこたえ利便性を高めるため、新たな利用プランや貸出物品を追加した。

事業例

- ・食堂売店運営を有限会社笠取ファームに委託
 - 食堂では地元笠取産の米を使用した食事を提供した。
 - 売店やイベントで野菜や特産物の販売を実施した。
 - 食堂新メニューとして「天井」「豚丼」を販売した。
 - 鍋焼きうどんとグラウンド・ゴルフをセットにした割引プランを提供した。
- ・出張工作教室の実施
 - 木幡公民館でのイベントに出店し、施設外で工作プログラムを提供した。
- ・ウェディング事業者とタイアップした野外結婚式の開催をサポートした。
- ・お客様の利便性を高めるため、有料貸出物品を追加した。(アウトドアテーブル、アウトドアチェア等)
- ・三角広場をオートキャンプ場として活用し、オートキャンププランの提供を開始した。
- ・常設テントの利用促進を図るため、特別プラン「森と星キャンプ」の提供を開始した。



野外活動奨励事業・野外活動体験事業 事業一覧

(活動奨励事業)

野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に野外活動センターの利用が促進されることを目指して予約不要のイベントを開催した。

総合計 8,824 人 (参考：令和4年度は6,314人)

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
4月9日(日)	春まつり	桜が見ごろの時期に地元特産品の販売や市民グループ・障がい者施設の出店を行うことで、市民が自然に親しむ機会を創出し、地域振興・交流の機会につなげた。 《参加者 1,787人》	
4月16日(日) ～令和6年3月20日 (水・祝)	つくってあそぼう!& 季節のクイズラリー (全22回)	参加費無料・予約不要で出来る工作イベントを2ヶ月に1度内容を変えて、気軽に工作を楽しめる機会を提供した。また、季節ごとの自然にちなんだ問題を作成し、施設内6か所でクイズラリーを楽しんでもらいながら、アクトパルの施設紹介も兼ねた。 《参加者 160人》	
4月21日(金) (4/7が雨天のため延期)	春のグラウンド・ゴルフデー	グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、コミュニケーションの場を創出するとともに、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図った。 《参加者 30人》	
4月29日(土・祝) 9月18日(月・祝)	親子で楽しむ グラウンド・ゴルフの日	親子が祖父母&孫など大人と子どもと一緒に気軽にプレーできるよう料金を割引し、交流の場を創出するとともに、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図った。 《参加者 60人》	
6月4日(日)	アクトパルであそぼう!	新緑の時期に丸太切り体験、じゃがいも掘りなど自然豊かな施設の特徴を生かした多彩なイベントを実施することによって、市民が自然に親しむ機会を創出した。 《参加者 1,189人》	 
8月11日(金・祝)	山であそぼう!	山の日にちなみ野鳥の観察、生物調査、標本づくり、工作などを実施し、山の自然を身近に感じてもらう機会とした。 《参加者 262人》	 
10月9日(月・祝)	秋まつり	(有)笠取ファーム、笠取小学校と共催し、地元特産品の販売や市民グループ・障がい者施設の出店、地域の活動紹介を行うことで、地域振興・交流の場を創出した。 《参加者 1,672人》	

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
10月29日(日)	ハロウィンをたのしもう！	ハロウィンの時期に合わせて、仮装ショーなどを通じて風習や手作りの楽しさを伝えた。また、絵本の読み聞かせも行った。 《参加者 340人》	
12月～ 令和6年2月 (毎週日曜・祝日)	わいわいホリデー (全17回)	ゆったり過ごしてもらえる室内で、季節にちなんだ楽しい企画を盛り込み、利用促進の広報活動と冬場での楽しさを提供した。 《参加者 1,380人》	
12月10日(日) 令和6年 1月7日(日) 2月18日(日) 2月23日(金・祝)	体育館であそぼう (全4回)	体育館を無料開放して、冬でもスポーツを楽しめる場を提供した。また、アクトパルの体育館を知ってもらう機会とした。 《参加者 566人》	
1月～2月 (毎週土曜日)	笠取交湯会(全8回)	笠取地域の住民を対象に大浴場を開放することにより、交流の場を提供し、地域との結びつきを深めた。 《参加者 119人》	
1月6日(土) 1月7日(日) 1月8日(月・祝)	新春笠取市(全3回)	笠取地元産野菜の販売を始め、陶器市や、豚汁・つくたて餅の販売などで、新春の笠取の魅力を発信した。 《参加者 388人》	
4月22日(土) 6月10日(土) 6月17日(土) 8月5日(土) 11月18日(土) 令和6年 1月27日(土) 2月24日(土)	星空オープンデー (全7回)	施設内の望遠鏡などの天体観測設備の特長を生かし、星空に関心を持ってもらえるプログラムを実施した。また、天文ボランティアの活動の場を創出した。 《参加者 871人》	

(活動体験事業)

丁寧なサポートと充実した有料イベントを年間約 50 イベント企画・実施し、生涯学習の推進を図った。親子で参加しやすい初心者向けの単発プログラムを中心とする一方、野外活動に深く興味を持ってもらう連続企画や年間を通じた登録制のクラブも実施した。

総合計 1,937 人 (参考：令和 4 年度は 2,151 人)

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
4 月 16 日 (日)	春の野草探しと野草の天ぷらづくり	施設内での野草摘みを通じて、食用にできる植物を知り、摘んだ草花を材料に天ぷらにして食育の一助とした。 《定員 30 人 参加者 25 人》	
①5 月 7 日 (日) ②6 月 17 日 (土)	令和 4 年度畑体験つづき (①たまねぎ・②じゃがいも収穫)	地元農家の協力により、自分たちで植え付けた玉ねぎとじゃがいもの収穫を行った。 《定員 50 人 参加者①27 人②12 人》	
①5 月 13 日 (土) ②5 月 14 日 (日) (2 回開催)	お茶つみ・製茶&ティータイム	施設内の茶畑での茶摘みから製茶体験など通じて宇治の代表的な産品である茶のことをよく知ってもらう機会とした。 《定員各 24 人 参加者①15 人②18 人》	
田植え ①5 月 20 日 (土) ②5 月 21 日 (日) 稲刈り ①9 月 16 日 (土) ②9 月 17 日 (日)	田んぼ体験 ～田植え&稲刈り～	(有) 笠取ファームの協力により、田んぼで田植えと稲刈りを体験した。自分で植えた稲が育つのを観察し、稲穂が垂れたタイミングで稲刈りをすることで、自然の恵みを体感し食べ物を大切にする心の醸成につなげた。 《定員各 40 人 参加者延べ 142 人》	
①5 月 27 日 (土) ②5 月 28 日 (日) (2 回開催)	バウムクーヘンをつくらう！	野外でのバウムクーヘン作りに挑戦することによって、アウトドアの料理の奥深さに触れるとともに、家族で協力し作り上げることで、コミュニケーションを深める機会とした。 《定員各 36 人 参加者①35 人②38 人》	
①6 月 24 日 (土) ②6 月 25 日 (日) (2 回開催)	じゃがいも畑のくいしん坊	(有) 笠取ファーム所有の畑でじゃがいも掘りを体験し、その場(畑)で調理した掘りたてのいものおいしさを知ることによって農業体験の楽しさを知る機会とした。 《定員各 24 人 参加者①19 人②26 人》	
7 月 2 日 (日) (午前午後 2 回開催)	陶芸教室～入門編～	陶芸をはじめたい人のために初心者向けの教室を開催し、陶芸に親しんでもらうとともにより上級の作品に取り組むことができるように案内した。 《定員各 24 人 参加者午前 22 人午後 17 人》	

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
①7月15日(土) ②7月16日(日) ③7月17日(月・祝) (3回実施)	流しそうめんセットをつくろう!	家族で協力し、竹で流しそうめんの台や食器づくりをすることでモノづくりの楽しさを共有し、家族の絆を深める機会とした。 《定員各24人参加者①23人②25人③25人》	4 質の高い教育をみんなに 
7月22日(土) ～23日(日) (1泊2日)	虫ムシ大作戦	虫捕りや観察を通じて身近な自然に親しみ、豊かな生態系を守ることの大切さを学ぶ機会とした。 《定員30人 参加者17人》	4 質の高い教育をみんなに 15 陸の豊かさを保ち増進  
8月6日(日) (午前午後2回開催)	夏休み親子工作デー	夏休みに親子が協力して木工作品作りに取り組むことにより、親子の協力関係を築くきっかけづくりを行うとともに、講師の指導で工作道具の正しい使い方なども学び、モノづくりの楽しさを体感することを目指した。 《定員各24人 参加者午前9人午後9人》	4 質の高い教育をみんなに 
8月26日(土) ～27日(日) (1泊2日)	親子 de キャンプ	キャンプ経験のない家族が気軽に参加できて、普段と違った環境の中での家族内のコミュニケーションづくり、キャンプやアウトドアに親しむ契機となることを目指した。 《定員24人 参加者20人》	3 持続可能なエネルギー 4 質の高い教育をみんなに  
①9月2日(土) ②9月3日(日) (2回開催)	アウトドアクッキング	地元のイタリア料理店のシェフのレシピで生地からつくる窯焼きピザを体験することを通じて、アウトドアでの料理を楽しみ、食育につなげた。 《定員各24人 参加者①20人②22人》	3 持続可能なエネルギー 4 質の高い教育をみんなに  
①10月21日(土) ②10月22日(日) (2回開催)	いもほり&クッキング	畑でさつまいも収穫した後、とれたてのさつまいもを使って炊事棟で簡単なお菓子類をすることでアウトドアでの料理を楽しみ、食育につなげた。 《定員各24人 参加者①18人②21人》	4 質の高い教育をみんなに 12 持続可能な消費  
【苗・たねいも植え】 ①11月4日(土) ②令和6年3月3日(日) 【収穫体験】 令和6年 ③5月5日(日) ④6月15日(土) 予定 (全4回)	畑体験 ～玉ねぎの苗と種いもの 植え付け&収穫～	地元農家の協力により、畑での植え付けと収穫の両方を体験した。自分で植えた苗が育ち、春を迎えて収穫、さらに調理することで食べ物を大切にする心の醸成につなげた。 《定員50人 参加者①37人②36人》	2 気候変動 4 質の高い教育をみんなに  

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
11 月 5 日 (日)	燻製をたのしもう！	簡単な方法で、肉をはじめ意外な食材を燻製することによって、野外ならではのクッキングを身近に感じてもらえる機会とした。また、燻製の技法を知ることによって無駄のない食材の消費を考える機会とした。 《定員 40 人 参加者 36 人》	 
11 月 12 日 (日)	そば打ち体験	そば打ちを体験することでそば打ちを身近に感じ、ふるさとの食文化や手作りの楽しさを体感する機会とした。 《定員 20 人 参加者 18 人》	 
①11 月 18 日 (土) ②11 月 19 日 (日) (2 回開催)	ふるさとを味わおう	ひき臼を使ったきなこづくり、杵と臼を使ったもちつきを通して、地域に伝わる昔の道具の使い方や食べ物の文化に触れた。また、地元の畑でとれたての大根を味わうことで農業体験の楽しさを知る機会とした。 《定員各 24 人 参加者①9 人②17 人》	 
11 月 23 日 (木・祝)	秋のピクニック	紅葉を楽しみながら施設周辺の里山を歩き、樹木の説明などで自然との接し方を学んだ。また、落ち葉焚きで笠取産の焼き芋を味わい、秋の笠取の魅力伝えた。 《定員 30 人 参加者 34 人》	 
12 月 3 日 (日) (午前午後 2 回開催)	クリスマスリースをつくろう！	施設周辺の植物など自然の素材を生かしたオリジナルのリースづくりを通して、豊かな自然やモノづくりの楽しさ、クリスマスリースの由来を知る機会とした。 《定員各 24 人 参加者午前 15 人午後 20 人》	
12 月 10 日 (日)	ダッチオーブンでケーキをつくろう！	クリスマスの時期に合わせて、野外炊事の道具を使ってのケーキづくりを行うことで、アウトドアでのクリスマスを楽しんでもらった。 《定員 30 人 参加者 26 人》	
12 月 17 日 (日) (中止)	冬キャンプのススメ	初心者向けの火おこしや野外炊事、冬キャンプレクチャーなどアウトドア体験を通じて、身近な自然に親しむきっかけづくりとなるようなイベントを実施予定だったが、応募者が 4 名のみだったため、中止とした。 《定員 24 人》	 

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
①12月23日(土) ②12月24日(日) (2回開催)	ミニ門松・鏡もちづくり &もちつき	迎春準備としてのミニ門松づくりともちつき、ミニ鏡もちづくりを体験することで、古くから受け継がれている伝統や風習に親しんだ。 《定員各24人 参加者①29人②22人》	
令和6年 1月8日(月・祝) (午前午後2回開催)	陶器のランタンづくり	切り絵象嵌の技法を用いて筒状のランタンを作り、陶芸の楽しさに触れた。 《定員各24人 参加者午前7人午後12人》	
1月13日(土) ～14日(日) (1泊2日)	冬のふるさとハイキング	笠取の旧跡を巡りながら里山を歩き、冬ならではの笠取の自然を体感するとともに、地元農家のしいたけ栽培の見学など笠取の農産品を知ってもらい地元との交流も図った。 《定員20人 参加者5人》	
1月21日(日)	冬のアウトドアクッキング	地元特産品の野菜を使った温かい料理を家族が協力して作って食べることで、家族の絆を深める場を提供するとともに、冬のアウトドアの楽しみ方を知るきっかけとした。 《定員24人 参加者20人》	
2月3日(土) ～4日(日) (1泊2日)	親子で楽しむ木工教室& 星空観察	2日間かけていろいろな工具を使い、本格的な木工作業に取り組んで道具の使い方や木工の楽しさに触れるとともに、笠取産野菜のお鍋や冬の星空観察など、家族でゆっくり過ごせる場を提供した。《定員20人 参加者13人》	
2月10日(土) (午前午後2回開催)	陶芸教室～ろくろ編～	陶芸経験者を対象に、電動ろくろを使った作品づくりに挑戦し、ステップアップを目指した。 《定員各24人 参加者午前14人午後7人》	
2月11日(日) (午前午後2回開催)	しいたけの菌打ち体験	地元農家を講師に招き、しいたけの菌うちや、ほだ木の育て方を学ぶことを通じて笠取の農業・特産品を知るきっかけとした。 《定員各24人 参加者午前12人午後12人》	
①3月9日(土) ②3月10日(日) (2回開催)	手打ちうどん教室	うどん打ちの講師による笠取の名水を使ったうどん作りを通じてふるさとの食文化や手作りの良さを学んだ。 《定員各24人 参加者①23人②26人》	
3月24日(日)	BBQをたのしもう！	家族で野外BBQを楽しめるよう、野外炊飯の基本やコツなど実践を通じて習得する機会を提供した。《定員24人 参加者23人》	

(単独事業を複数回実施)

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
① 5月27日(土) ② 7月1日(土) ③ 9月30日(土) ④10月21日(土) ⑤12月16日(土) ~17日(日) (1泊2日) 令和6年 ⑥3月16日(土) (6回開催)	天文教室 「デジタルで楽しむ星空観察」 「七夕の星&プラネタリウム体験」 「中秋の名月」 「ファミリー星座入門」 「宿泊天文教室」 「宇宙人はいるのか？」	天体観察だけではなく、テーマに合わせた話や 工作・実験などを交えて、奥深い天文の世界に 触れる機会とした。 《定員①②④⑤24人 ③⑥40人 参加者①13人②14人③35人④15人 ⑤19人⑥37人》	
① 4月22日(土) ② 5月26日(金) ③ 6月10日(土) ④ 7月8日(土) ⑤ 9月23日(土・祝) ⑥10月20日(金) ⑦11月3日(金・祝) ⑧12月2日(土) 令和6年 ⑨ 1月27日(土) ⑩ 2月17日(土) ⑪ 3月2日(土) (11回実施)	グラウンド・ゴルフ大会	グラウンド・ゴルフを通じて、自然とのふれあ いや人々の交流の場を提供した。 《定員①④⑤⑧⑨50人 ②③⑥⑦⑩⑪70人 参加者①47人②44人③43人④49人⑤40人 ⑥43人⑦37人⑧50人⑨53人⑩69人 ⑪58人》	
● 3月15日(金)	● グラウンド・ゴルフ チャンピオンシップ大会	1年の成果を確かめるために年間通算成績上 位の方を対象にした大会を開催した。 《参加者 49人》	

(年間通じて申し込み)

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
① 4月23日(日) ② 7月9日(日) ③ 9月24日(日) ④ 11月26日(日) 令和6年 ⑤ 2月24日(土) ~25日(日) (1泊2日)	アウトドアクラブ (全5回)	年5回の連続講座で、初回は火おこしなどのアウトドアの基礎を学び、ステップアップしながら最終回はキャンプ場で宿泊し、自立してアウトドア活動ができることを目指した。また、回ごとに新しいメニューを取り入れ、新企画につなげられるようモニターになっていただいた。 《定員24人 参加者①22人②22人③24人④20人⑤15人》	
4月6日~ 令和6年3月28日	陶芸クラブ (全70回)	年間登録しているクラブ員が対象で、毎月6回設けた活動日に通年で陶芸に親しんでもらった。成果を発表する機会として、年1回展示会を催した。 《現会員41人》 《参加者延べ997人》	

理事会・評議員会開催状況

(1)理事会

回 数	開催日時	番 号	件 名
第1回	令和5年6月10日	議案第1号	令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	令和5年度第1回評議員会の招集について
		議案第4号	業務執行理事業務分担規程の改正について
		報告第1号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		報告第2号	令和4年度指定管理者事業報告書の提出について
		報告第3号	令和4年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
第2回	令和5年6月25日	議案第5号	代表理事の選定について
		議案第6号	業務執行理事の選定について
		議案第7号	役員等賠償責任保険加入について
第3回	令和6年3月10日	報告第4号	令和5年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第5号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		議案第8号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		議案第9号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について
		議案第10号	業務執行理事業務分担規程の改正について
		議案第11号	令和5年度第2回評議員会の招集について

(2)評議員会

回 数	開催日時	番 号	件 名
第1回	令和5年6月25日	議案第1号	令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	理事・監事の選任について
		議案第4号	評議員の選任について
		報告第1号	令和4年度指定管理者事業報告書の提出について
		報告第2号	令和4年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
		報告第3号	業務執行理事業務分担規程の改正について
第2回	令和6年3月24日	報告第4号	令和5年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第5号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		報告第6号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について
		報告第7号	業務執行理事業務分担規程の改正について

理事・監事・評議員名簿

(1) 理事・監事名簿

(令和6年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
代表理事	杉本厚夫
業務執行理事	藤原千鶴
理事	岩崎弘之
理事	鬼塚慎一
理事	宝本美穂
理事	西川治
監事	國谷和正
監事	井内徹

(2) 評議員名簿

(令和6年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
評議員	久世谷幸治
評議員	橋本佳延
評議員	松林俊幸
評議員	森正子
評議員	安田修治

令和5年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

決 算 報 告 書

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,920,263	17,660,290	△ 7,740,027
売掛金	8,115,657	4,540,939	3,574,718
未収金	0	237,518	△ 237,518
前払金	197,443	41,260	156,183
流動資産合計	18,233,363	22,480,007	△ 4,246,644
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	122,301	0	122,301
定期預金	20,470,499	50,000,000	△ 29,529,501
投資有価証券	29,407,687	0	29,407,687
基本財産合計	50,000,487	50,000,000	487
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	46,052,240	38,703,159	7,349,081
電気陶芸窯取得積立資産	0	1,700,000	△ 1,700,000
特定資産合計	46,052,240	40,403,159	5,649,081
(3) その他固定資産			
構築物	646,546	765,907	△ 119,361
什器備品	2,338,094	69,371	2,268,723
その他固定資産合計	2,984,640	835,278	2,149,362
固定資産合計	99,037,367	91,238,437	7,798,930
資産合計	117,270,730	113,718,444	3,552,286
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	17,357,259	21,941,992	△ 4,584,733
預り金	920,870	235,556	685,314
流動負債合計	18,278,129	22,177,548	△ 3,899,419
2. 固定負債			
退職給付引当金	46,052,240	38,703,159	7,349,081
固定負債合計	46,052,240	38,703,159	7,349,081
負債合計	64,330,369	60,880,707	3,449,662
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産受取利息	487	0	487
指定正味財産合計	50,000,487	50,000,000	487
(うち基本財産への充当額)	(50,000,487)	(50,000,000)	(487)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(1,700,000)	(△ 1,700,000)
正味財産合計	52,940,361	52,837,737	102,624
負債及び正味財産合計	117,270,730	113,718,444	3,552,286

正味財産増減計算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,396	2,195	201
事業収益			
指定管理料収益	120,589,537	113,920,937	6,668,600
利用料金収益	33,954,780	25,493,054	8,461,726
材料費収益	2,377,150	1,880,160	496,990
奨励事業収益	323,500	259,000	64,500
活動体験事業収益	2,811,850	3,128,390	△ 316,540
その他自主事業収益	86,600	32,300	54,300
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	0	923,912	△ 923,912
雑収益			
雑収益	67,700	224,080	△ 156,380
経常収益計	160,213,513	145,864,028	14,349,485
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	52,198,767	48,621,773	3,576,994
臨時雇賃金	7,210,898	6,556,035	654,863
退職給付費用	6,981,627	3,133,546	3,848,081
福利厚生費	8,703,913	7,621,014	1,082,899
食糧費	137,300	128,330	8,970
旅費交通費	3,143,376	2,044,162	1,099,214
通信運搬費	763,048	962,176	△ 199,128
減価償却費	232,336	143,242	89,094
消耗品費	5,662,459	5,036,605	625,854
修繕費	4,843,848	4,962,527	△ 118,679
印刷製本費	619,735	307,934	311,801
燃料費	1,823,213	1,697,727	125,486
光熱水料費	13,500,068	12,916,474	583,594
賃借料	4,927,751	3,927,254	1,000,497
保険料	103,540	117,820	△ 14,280
諸謝金	1,749,842	1,803,560	△ 53,718
手数料	436,950	251,425	185,525
委託費	34,256,893	34,112,385	144,508

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費			
役員報酬	1,237,000	1,277,700	△ 40,700
給料手当	2,087,650	1,924,651	162,999
退職給付費用	367,454	164,923	202,531
福利厚生費	259,952	243,810	16,142
会議費	24,265	3,192	21,073
食糧費	9,450	10,250	△ 800
報償費	5,000	10,000	△ 5,000
旅費交通費	90,520	88,824	1,696
通信運搬費	88,795	132,793	△ 43,998
消耗品費	172,494	144,480	28,014
広告料	0	44,000	△ 44,000
保険料	282,640	160,090	122,550
諸謝金	19,800	29,700	△ 9,900
租税公課	7,971,230	7,085,900	885,330
負担金	90,220	21,200	69,020
手数料	8,140	7,590	550
経常費用計	160,010,174	145,693,092	14,317,082
評価損益等調整前当期経常増減額	203,339	170,936	32,403
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	203,339	170,936	32,403
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	101,202	0	101,202
経常外費用計	101,202	0	101,202
当期経常外増減額	△ 101,202	0	△ 101,202
当期一般正味財産増減額	102,137	170,936	△ 68,799
一般正味財産期首残高	2,837,737	2,666,801	170,936
一般正味財産期末残高	2,939,874	2,837,737	102,137
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産受取利息	487	0	487
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	487	0	487
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,487	50,000,000	487
Ⅲ 正味財産期末残高	52,940,361	52,837,737	102,624

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	2,396	0	0	0	2,396
事業収益					
指定管理料収益	106,048,008	1,826,919	12,714,610	0	120,589,537
利用料金収益	33,377,549	577,231	0	0	33,954,780
材料費収益	2,377,150	0	0	0	2,377,150
奨励事業収益	323,500	0	0	0	323,500
活動体験事業収益	2,811,850	0	0	0	2,811,850
その他自主事業収益	86,600	0	0	0	86,600
受取補助金等					
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0
雑収益					
雑収益	67,700	0	0	0	67,700
経常収益計	145,094,753	2,404,150	12,714,610	0	160,213,513
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	51,332,522	866,245	0	0	52,198,767
臨時雇賃金	7,088,313	122,585	0	0	7,210,898
退職給付費用	6,864,042	117,585	0	0	6,981,627
福利厚生費	8,551,527	152,386	0	0	8,703,913
食糧費	137,300	0	0	0	137,300
旅費交通費	3,089,985	53,391	0	0	3,143,376
通信運搬費	750,109	12,939	0	0	763,048
減価償却費	232,336	0	0	0	232,336
消耗品費	5,603,637	58,822	0	0	5,662,459
修繕費	4,761,503	82,345	0	0	4,843,848
印刷製本費	609,584	10,151	0	0	619,735
燃料費	1,792,218	30,995	0	0	1,823,213
光熱水料費	13,270,567	229,501	0	0	13,500,068
賃借料	4,843,979	83,772	0	0	4,927,751
保険料	103,540	0	0	0	103,540
諸謝金	1,749,842	0	0	0	1,749,842
手数料	429,668	7,282	0	0	436,950
委託費	33,680,742	576,151	0	0	34,256,893

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
管理費					
役員報酬	0	0	1,237,000	0	1,237,000
給料手当	0	0	2,087,650	0	2,087,650
退職給付費用	0	0	367,454	0	367,454
福利厚生費	0	0	259,952	0	259,952
会議費	0	0	24,265	0	24,265
食糧費	0	0	9,450	0	9,450
報償費	0	0	5,000	0	5,000
旅費交通費	0	0	90,520	0	90,520
通信運搬費	0	0	88,795	0	88,795
消耗品費	0	0	172,494	0	172,494
広告料	0	0	0	0	0
保険料	0	0	282,640	0	282,640
諸謝金	0	0	19,800	0	19,800
租税公課	0	0	7,971,230	0	7,971,230
負担金	0	0	90,220	0	90,220
手数料	0	0	8,140	0	8,140
経常費用計	144,891,414	2,404,150	12,714,610	0	160,010,174
評価損益等調整前当期経常増減額	203,339	0	0	0	203,339
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	203,339	0	0	0	203,339
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
什器備品除却損	101,202	0	0	0	101,202
経常外費用計	101,202	0	0	0	101,202
当期経常外増減額	△ 101,202	0	0	0	△ 101,202
他会計振替前					
当期一般正味財産増減額	102,137	0	0	0	102,137
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	102,137	0	0	0	102,137
一般正味財産期首残高	2,837,737	0	0	0	2,837,737
一般正味財産期末残高	2,939,874	0	0	0	2,939,874
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
基本財産受取利息	487	0	0	0	487
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	487	0	0	0	487
指定正味財産期首残高	50,000,000	0	0	0	50,000,000
指定正味財産期末残高	50,000,487	0	0	0	50,000,487
Ⅲ 正味財産期末残高	52,940,361	0	0	0	52,940,361

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	122,301	0	122,301
定期預金	50,000,000	20,470,499	50,000,000	20,470,499
投資有価証券	0	29,407,687	0	29,407,687
小 計	50,000,000	50,000,487	50,000,000	50,000,487
特定資産				
退職給付引当資産	38,703,159	7,349,081	0	46,052,240
電気陶芸窯取得積立資産	1,700,000	0	1,700,000	0
小 計	40,403,159	7,349,081	1,700,000	46,052,240
合 計	90,403,159	57,349,568	51,700,000	96,052,727

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	122,301	(122,301)	(0)	—
定期預金	20,470,499	(20,470,499)	(0)	—
投資有価証券	29,407,687	(29,407,687)	(0)	—
小 計	50,000,487	(50,000,487)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	46,052,240	—	—	(46,052,240)
小 計	46,052,240	(0)	(0)	(46,052,240)
合 計	96,052,727	(50,000,487)	(0)	(46,052,240)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	1,193,616	547,070	646,546
什器備品	3,374,150	1,036,056	2,338,094
合 計	4,567,766	1,583,126	2,984,640

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	29,407,687	28,782,000	△ 625,687
合 計	29,407,687	28,782,000	△ 625,687

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は次のとおりである。

種類	法人等の名称	住所	資産総額(単位:円)	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額(単位:円)	科目	期末残高(単位:円)
						役員の兼務等	事業上の関係				
当該公益法人を支配する法人	宇治市	京都府宇治市	—	—	—	—	宇治市総合野外活動センター管理運営業務の受託契約の締結	業務受託費の受取	120,589,537	—	—

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

業務受託費については、市場価格を勘案し一般的取引条件と同様に決定する。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	普通預金	0	122,301	0	122,301
	定期預金	50,000,000	20,470,499	50,000,000	20,470,499
	投資有価証券	0	29,407,687	0	29,407,687
	基本財産計	50,000,000	50,000,487	50,000,000	50,000,487
特定資産	退職給付引当資産	38,703,159	7,349,081	0	46,052,240
	電気陶芸窯取得積立資産	1,700,000	0	1,700,000	0
	特定資産計	40,403,159	7,349,081	1,700,000	46,052,240

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	38,703,159	7,349,081	0	0	46,052,240

財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金 普通預金 売掛金 前払金	現金	手元保管	運転資金として	1,041,958
	普通預金	京都中央信用金庫 宇治支店	運転資金として	8,878,305
	売掛金	宇治市	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する指定管理料収益	7,038,537
		リクルートペイメント	公益目的事業及び収益事業等に関する利用料金収益	866,770
		施設利用者	公益目的事業に関する利用料金収益	210,350
	前払金	利付国庫債券(30年)第81回	公益目的事業に関する基本財産受取利息 経過利子分	122,301
		(有)ホケン	公益目的事業に関する保険料	20,000
		コストホールセールジャパン(株)	公益目的事業に関する消耗品費	11,970
		京都・宇治式部郷	公益目的事業に関する消耗品費	9,720
		ドン・キホーテ	公益目的事業に関する消耗品費	8,327
		アミカ	公益目的事業に関する消耗品費	4,365
		(社福)京都府社会福祉協議会	管理業務に関する保険料	9,000
		小学館	管理業務に関する消耗品費	11,760
流動資産合計				18,233,363
(固定資産)				
基本財産	普通預金	京都中央信用金庫宇治支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	122,301
	定期預金	京都信用金庫本部	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,000,000
		京都やましろ農業協同組合東宇治支店		10,000,000
		大和ネクスト銀行		470,499
	投資有価証券	利付国庫債券(30年)第81回	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	29,407,687
	退職給付引当資産	普通預金	退職金の支払い財源として積み立てている	46,052,240
	構築物	京都中央信用金庫 宇治支店		
	その他固定資産	幼児向け遊具	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	539,548
		幼児向け遊具	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	106,998
	什器備品	七宝焼講習用電気炉	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1
		電気窯	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1
		冷蔵庫	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	45,486
		電気窯	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1,808,506
		ノートパソコン3台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	484,100
固定資産合計				99,037,367
資産合計				117,270,730
(流動負債)				
未払金	役員		公益目的事業、収益事業等及び管理業務に従事する職員の給与等	2,563,015
	京都南年金事務所		公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する福利厚生費	1,104,855
	NTT西日本		管理業務に関する通信運搬費	19,126
	フルカワスポーツ		公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	1,002,570
	エディオン		公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	1,006,860
	オンリーワン陶芸教室		公益目的事業に関する消耗品費	51,892
	アマゾンジャパン		公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	73,136
	三井田商事		公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	38,948
	デュプロ		公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	21,120
	キタムラ文具店		公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	57,895
	内田工務店		公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費	324,665
	近建ビル管理		公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費、消耗品費及び委託費	1,883,717
	モクラボ		公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	494,450
	キャンパルジャパン		公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	548,900
	ラクスル		公益目的事業に関する印刷製本費	13,480
	南山城複写センター		公益目的事業及び収益事業等に関する印刷製本費	193,600
	晴喜商事		公益目的事業及び収益事業等に関する燃料費	289,740
	関西電力		公益目的事業及び収益事業等に関する光熱水料費	1,089,061
	小山商会		公益目的事業及び収益事業等に関する賃借料	359,458
	ダスキン山城		公益目的事業及び収益事業等に関する賃借料	1,584
	ボランティア		公益目的事業に関する諸謝金	121,600
	宇治第一交通		管理業務に関する旅費交通費	3,910
	笠取ファーム		公益目的事業及び収益事業等に関する委託費及び消耗品費	1,906,111
	アムス・セキュリティサービス		公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	29,480
	堂坂ジェットクリーナー工業		公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	1,377,229
	京都保健衛生協会		公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	38,200
	日本郵便		管理業務に関する通信運搬費	33,542
	KDDI		管理業務に関する通信運搬費	5,579
	朝日ネット		管理業務に関する通信運搬費	8,228
	読売センター		管理業務に関する消耗品費	5,650
	正美堂		公益目的事業、収益事業等に関する消耗品費	43,158
	宇治税務署		管理業務に関する租税公課	2,646,500
	預り金	役員	本人負担分社会保険料及び源泉所得税	920,870
流動負債合計				18,278,129
(固定負債)				
退職給付引当金	職員		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	46,052,240
固定負債合計				46,052,240
負債合計				64,330,369
正味財産				52,940,361

監 査 報 告 書

令和6年5月25日

公益財団法人宇治市野外活動センター
代表理事 杉本 厚夫 殿

公益財団法人宇治市野外活動センター

監事 岡谷 和正

監事 井内 徹

私たちは、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度における会計及び業務の監査を行った。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続を用いて、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財産目録の適正性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財産目録が公益財団法人宇治市野外活動センターの財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告は法令又は定款に従い公益財団法人宇治市野外活動センターの状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認める。